

株式会社アイコットリョーワ



外観

岐阜県多治見市で、窯業用燃料業として発足した前身から、1972(昭和47)年に建築タイル部門を引き継ぎ創業した「株式会社アイコットリョーワ」の本社。古くより陶磁器が盛んな多治見市の緑豊かな郊外に位置する。



1F男性トイレ

来客も利用する入口横の男性トイレ。通常、トイレの扉は開け放した状態で利用しているが、外から便器が丸見えにならないよう、レイアウトを工夫している。自動水栓は電源不要の自己発電タイプを採用。



1F男性トイレ

小便器コーナーは、汚れやすい小便器の足元に、抗菌・抗ウイルス効果、防汚・防臭効果のあるハイドロセラ・フロアPUを設置。また、大便器の洗浄ボタンは、非接触で流せるセンサータイプを採用している。



トイレ図面



水まわりの特長

改修の経緯

「株式会社アイコットリョーワ」は、やきもの文化の町、岐阜県多治見で窯業用燃料業を営んでいた前身から、1972(昭和47)年に建築タイル部門を引き継ぎ創業。「世界の街並みを、より上質にしていきたい」という想いのもと、強さと美しさを兼ね備えた市場ニーズにマッチしたタイルを、リーズナブルかつ安定的に供給。外装建材タイルの専門メーカーとしてトップクラスへと成長している。今回、社員アンケートを実施したところ、トイレ改修の要望が多く上がり、築30年近く経過し和式便器も残っていた本社工場棟の中にある1、2Fトイレの改修を実施。たんに効率やローコストを求めるのではなく、しっかりと快適なトイレ環境を整備し、社員の快適性につなげたいという会社の想いが込められた改修となった。

トイレの特長

1Fには、来客の利用も多い男性トイレのみが設置されている。通常入口ドアは開け放して使用されているが、限られたスペースに器具が適切に配置され、通路から直接便器などが見えないよう、レイアウトが工夫されている。2Fは男性、女性トイレがそれぞれ設置されており、各トイレ入口の場所を大きく変更したことにより、トイレ前の入口通路を確保。ゆとりのある空間に生まれ変わった。設備は、機能性かつ快適性に配慮された機器を選定。特に女性トイレは、スタイリングコーナーを新設し、身だしなみ配慮にも対応している。また、トイレ空間には、自社製品であるタイルが随所に施され、タイルならではの素材感を生かし、上質で落ち着いた雰囲気空間を演出している。

建築概要

名称	株式会社アイコットリョーワ
所在地	岐阜県多治見市大藪町1989-5
施主	株式会社アイコットリョーワ
設計・施工	ダイダン株式会社 TOTOアクアエンジ株式会社
竣工年月	(改修)2022年3月
敷地面積	25,000㎡
建築面積	3,650㎡
延床面積	7,300㎡
構造・階数	鉄骨造・地上2階
おもなTOTO使用機器	
パブリックコンパクト便器・タンク式:CS597BMS+SH596BAYR	
ウォッシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AE	
棚付二連紙巻:YH702／自動洗浄小便器:UFS900R	
ツインデッキカウンター(ポウルー体タイプ):MKWE／壁掛洗面器:L270CM	
壁付自動水栓:TENA125AW／台付自動水栓:TENA41AW	
自動水石けん供給栓:TLK07S04J、TLK06S02J、TLK06S03J	
LED照明付鏡:EL80015／全身鏡:YMK50K	



2Fトイレ入口

窓から明るい光が差しこむ男女トイレ入口通路。床や壁は、自社製品のタイルを内装資材として仕上げ、高級感のあるトイレスペースを演出している。



2F男性トイレ 全体

小便器横の窓から光が取り込まれた、明るく気持ちのよい空間の男性トイレ。壁掛型の自動洗浄小便器は、汚水を効率よく置換える節水タイプを採用し、節水性・清掃性に配慮している。



2F男性トイレ
大便器ブース



大便器は、手をかざすだけで洗浄可能なセンサースイッチを採用。また、利用後の身だしなみをチェックできるよう入口横には、全身鏡を設置している。



2F女性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーは、手荷物を濡れずに置けるドライエリアを設けたツインデッキカウンターを採用。さらに、今回スタイリングコーナーが新設され、女性社員の身だしなみやお化粧直しにも利用されている。



2F女性トイレ
大便器コーナー

大便器ブースの扉は、ブースの空き状況がひと目でわかるように、壁面と色を変えることにより視認性を上げている。



改修前



社員アンケートでも、改善要望が多かった改修前のトイレ。和式便器も多く残っており、前時代感が否めない雰囲気だった。